

マイナス金利の

衝撃

脱デフレのためなら打てる手は何でも打つ。劇薬の投与もいとわない。

黒田日銀総裁が金融政

いである。銀行の預け金に「手数料」を課すという意味で、通常の金融政策ではない。銀行が逆ザヤに陥る副作用はある程度覚悟のうえだ。

戦略も頓挫してしまう。先週、スイスで開かれたダボス会議に立つ前には、総裁は事務方に追加緩和の具体策を指示した。帰国後、提示されたマイナス金利案を胸に、強い反対を覚悟で総裁は

はすでにマイナス金利を採用的に日本も同じ政策を採ること、為替市場の争いが円に集中するのを避けた。「必要な場合はさらに金利を引き下げる」との方針表明にそんな思惑がにじむ。

を実施しているのに、2%インフレの目標達成のめどが立たない。そこへ欧州でも十分な効果を発揮しているか議論の分かれる、マイナス金利を加えても効果は増すのだろうか。そんな疑問を抱く市場関係者も多い。

一連の国際金融不安は、中国経済の失速、原油安、米利上げによる新興国からの資金引き揚げに根ざす。とくに中国からの資本流出は人民元の下落と株式の動揺を通じて、世界経済を揺るがす。

「私見だが」。そう断った。黒田総裁は23日のダボス会議で、中国による資本流出規制の可能性

策で初の「マイナス金利」の導入という、未踏の領域に足を踏み入れた。原

内外市場の動揺はそれほどまでに想定を超えて

強い反対を覚悟で総裁は

そんな思惑がにじむ。

甘利明氏の経済財政・再生相辞任で傷を負った安倍政権の経済運営の立て直しも急務である。予算や重要法案の成立を急ぐとともに、成長戦略の作成を本格化させ、景気が変調を来すリスクへの備えも進めるべきだ。

「まず先陣を切る」との言葉通り黒田総裁は動

マネー動揺 劇薬で対抗

油安と中国など新興国経済の減速が、デフレ脱却の機運を腰折れさせかねない。そんな危機感が総裁を突き動かした。

春の賃金交渉にかけ

鬼門は不安定な値動きの株債ばかりでない。逃避通貨とみなされる円の上昇圧力でもある。

効果を見極めたいとして、乱高下した。

「私見だが」。そう断った。黒田総裁は23日のダボス会議で、中国による資本流出規制の可能性

「まず先陣を切る」との言葉通り黒田総裁は動

「マイナス金利」は日銀に眠る銀行の預け金を砕けとなる。政府と足並みをテコ入れするのが狙

使の先行き不安を払拭できなければ、賃上げが腰砕けとなる。政府と足並み

鬼門は不安定な値動きの株債ばかりでない。逃避通貨とみなされる円の上昇圧力でもある。

効果を見極めたいとして、乱高下した。

「私見だが」。そう断った。黒田総裁は23日のダボス会議で、中国による資本流出規制の可能性

「まず先陣を切る」との言葉通り黒田総裁は動